

令和7年度大阪府がん対策推進委員会 第1回肝炎肝がん対策部会（概要）

1. 日時 令和8年2月25日（水）午後3時00分～4時00分
2. 場所 国民會館大阪城ビル12階 小ホール
3. 議事

議題

- （1）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

報告事項

- （1）第4期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について
- （2）肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について
- （3）肝炎・肝がん対策事業について
 - ①肝炎初回精密検査費用助成事業及び肝炎定期検査費用助成事業について
 - ②肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について
- （4）肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について
- （5）肝炎医療コーディネーターについて
- （6）その他

4. 委員からの意見要旨と審議結果

議題

- （1）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

【意見要旨】

- 特に意見なし。

【審議結果】

- 承認

報告事項

- （1）第4期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について
- （2）肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について

【意見要旨】

- 累積受検者140万人、精密検査受診率80%に向けて、さらなる有効な対策の検討を。

- （3）肝炎・肝がん対策事業について

【意見要旨】

- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の普及には、医療者、患者双方への啓蒙が必要である。
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業を説明する際、申請手続きの負担の他、収入要件等の個人情報等を確認することにもハードルがあるのではないか。
- 申請者に肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業をどこで知ったかを聞くことも、今後の啓発方法を検討する材料になるのではないか。

(4) 肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について

【意見要旨】

- 市町村における好事例として、コミュニケーションアプリ（LINE）等を活用した啓発の好事例があるため、対応が広がることに期待する。

(5) 肝炎医療コーディネーターについて

【意見要旨】

- 多職種を含む医療者さらには患者も含めて、多くの方がコーディネーターの資格を有していることは大阪府の良い取り組みと言える。
- コーディネーター資格更新のためのスキルアップ研修の継続は重要な課題である。

(6) その他

【意見要旨】

- 最近では肝がんの背景疾患として、肝炎ウイルス感染は減少傾向となり、一方で生活習慣病（肥満、飲酒など）が増加している。以上の背景を考えると、肝がん対策においては、肝炎ウイルスのみならず、生活習慣病への取り組みも重要ではないかと考える。
- 肝炎ウイルスに感染していることを知らなかったために、周囲の医療従事者、介護スタッフや家族が感染した事例も散見される。ご自身が感染の有無を把握するためにも、検査を受けることは重要だと考える。